

事業評価書

補助事業名	交通施設:下長根・宿1号線舗装改築				
補助事業者名	高崎市				
実施場所	高崎市吉井町長根地内				
補助事業の成果の目標	<p>本路線は、過去に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により道路改良工事を実施した道路である。施工から20年以上が経過しているため舗装面の劣化が著しく、車両の走行に支障をきたしている。小規模な補修で延命を図ってきたが今後さらに舗装面の劣化が進行し、騒音・振動の発生や走行時の安全性の低下が生じる恐れがある為、早期に対応する必要がある。また災害時緊急避難場所「吉井中央公園(仮)」に接する道路と同一路線であるため避難道路としての機能の確保も必要となっている。</p> <p>本事業により安全性や快適性を確保し周辺住民の生活環境の向上を図る。なお、本路線は平成29年度単年での整備を予定している。</p> <p>【参考指数】 長根・西吉井地区 1, 102世帯 2, 780人 (平成29年4月30日現在)</p>				
補助事業の内容	工事延長 539.0m/539.0m 幅員7.0m				
補助事業の始期及び終期	平成29年度				
事業費及び交付金額			29年度		計
	事業費	円	円 21,222,000	円	円 21,222,000
	交付金額	円	円 20,000,000	円	円 20,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 地元区長・住民に聞き取り調査を実施したところ、安全性や快適性が向上しているとの意見を頂いていることから周辺住民の生活環境の向上が図れたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ・工事看板への記載 ・工事回覧での周知 ・工事完成後にペイント標示</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	本年度で無事業を完了できた。舗装工事の効果を確認しつつ、また地域の意見に配慮しながら進行中の改良工事や計画中の路線に反映させていければよいと考えている。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	交通施設:常光寺・宿1号外1線改良舗装				
補助事業者名	高崎市				
実施場所	高崎市吉井町馬庭地内				
補助事業の成果の目標	<p>本路線は吉井弾薬支処南西部に位置する2級市道であり馬庭地区の外郭を構成するに当たって不可欠な道路である。 さらに馬庭地区以南の田園地帯への用水路としての役割もある。また吉井弾薬支処西斜面からの雨水排水も兼ねている重要な用排水路である。 現在、水路側壁を兼ねた道路擁壁に一部傾きが見られ水路自体も古く道水路の機能低下も見られる。また用排水路が開渠であるため道路有効幅員が十分に取れておらず、歩行者や車両の通行に懸念がある。そこで水路を暗渠化(蓋付側溝化)し歩行者の安全性を確保しつつ道路の健全化を図るための工事である。 本事業により吉井弾薬支処近隣道路の安全性や快適性を確保し周辺住民の生活環境の向上を図る。 なお、本路線は平成29年度から平成32年度の4カ年での整備を予定している。</p> <p>【参考指数】 馬庭地区 574世帯 1,457人 (平成29年4月30日現在)</p>				
補助事業の内容	排水構造物工 L=233.5m				
補助事業の始期及び終期	平成29年度から平成32年度				
事業費及び交付金額		28年度 以前	29年度	30年度 以降予定	計
	事業費	円 8,121,600	円 26,298,000	円 93,702,000	円 128,121,600
	交付金額	円 6,400,000	円 25,915,000	円 70,085,000	円 102,400,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 工事が全線完了していないことから具体的な評価は出来ないが、工事完了区間については、円滑に供用開始されている。今年度は東西道路の側溝布設を完了したため道路の有効幅員が増加したため当該路線の車両走行性が向上した。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ・工事看板への記載 ・工事完成後ペイント ・工事回覧での周知</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	地域住民から早期完成を望む声や、道幅が広がり安全になったなどの意見も出ている。今年度も側溝の布設替えを進めさらなる工事を進捗を図れるよう注力していきたい。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	交通施設:下長根・宿1号外2線改良舗装				
補助事業者名	高崎市				
実施場所	高崎市吉井町下長根地内				
補助事業の成果の目標	<p>本路線は高崎市総合計画で整備が予定されている災害時緊急避難場所「吉井中央公園(仮)」に接した計画道路である。</p> <p>現道は幅員が2m程度と狭く、避難道路としての機能のみならず、緊急車両の進入すら困難な状況であり、また、コンクリート舗装面のひび割れやたわみ等のいたみが多く見られる状況となっている。</p> <p>そこで、道路幅員(車道7.5m、歩道3.5m)を確保するとともに、舗装改良することにより、災害時の緊急避難場所へのアクセス道路として整備し、緊急車両等の通行及び近隣住民をはじめとする歩行者の通行の快適性・安全性を確保することで周辺住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>なお、本路線は平成24年度から平成32年度の8カ年での整備を予定しており、用地取得済み箇所から道路改良工事を施工している。</p> <p>【参考指標】 想定避難場所利用世帯数 2,527世帯 想定避難所利用人口 6,402人 (平成29年4月30日現在)</p>				
補助事業の内容	工事延長 358.4m/550.0m 幅員11.0m				
補助事業の始期及び終期	平成24年度から平成32年度				
事業費及び交付金額		28年度 以前	29年度	30年度 以降予定	計
	事業費	円 173,832,767	円 4,406,000	円 32,759,600	円 210,998,367
	交付金額	円 155,708,500	円 4,001,000	円 21,268,000	円 180,977,500
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 工事が全線完了していないことから具体的な評価は出来ないが、工事完了区間については、円滑に供用開始されている。今年度は歩道部の舗装を行ったため隣接宅地の快適性が向上した。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 ・工事看板への記載 ・工事完成後ペイント ・工事回覧での周知</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	道路工事も順調に進み計画道路の線形が見えてきたことで、地域住民から早期完成を望む声や、きれいな道路になると良いなどの意見も出ている。今年度も隣接する災害時緊急避難場所「吉井中央公園(仮)」の整備なども考慮しながら工事を進めていきたい。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				